

# 会報

2012 ▶ 2013  
WEEKLY REPORT



奉仕を通じて  
**平和を**

田中作次

2012-13年度  
国際ロータリー会長

留萌  
ロータリークラブ  
会長 目標

会長 / 山本讓二

ロータリーを楽しく・  
学び・奉仕しよう

幹事 / 森 幹雄

## プログラム

● 本日

来賓卓話「留萌地域人材開発センターの役割」

兜 所長

会員誕生日

9月14日 清水 陸

9月15日 鈴木 康伸

9月18日 大嶋 孝広

● 次週予定

来賓卓話「議会改革への取り組み」

留萌市議会 議長 小野 敏雄様

結婚記念日

9月15日 鷓城 善輝

No. 2526

第10回 9月12日

出席報告

前例会

会員総数	43名
出免会員	10名
出免出席	8名
基準会員出席	20名
出席率	65.11%

前々々会

第7回 8月22日

欠席会員	0名
内メイクアップ	0名
修正出席率	100.00%

例会 / 毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F



## 会長報告

1. 8月30日第3回定例理事会並びに第2回クラブ協議会を開催致しました。決定事項を報告いたします。

- ①10月例会プログラムについて承認
- ②行灯祭りの決算書について承認
- ③7・8月の会計報告を承認

2. 地区大会登録者数が30名になりました。多くの会員さんの登録をいただき、大変ありがとうございます。



## 幹事報告

- ・芦別RCより、8月会報と9月例会プログラムを受領しました。
- ・深川RCより、8月会報と9月例会プログラ

ムを受領しました。

- ・羽幌RCより、8月会報と9月例会プログラムを受領しました。
- ・細川ガバナーより、公式訪問の礼状を受領しました。



## 委員会報告

第1グループ 清水ガバナー補佐より報告

先週の第1グループガバナー公式訪問が無事終了しました。これもひとえに皆様のお陰と感謝申し上げます。ありがとうございました。

ガバナーからもお礼の電話をいただきました。

## ニコニコBOX .....

・長期間欠席いたしました 佐藤会員

前 回	232,000円
今 回	3,000円
累 計	235,000円

## プログラム .....

### 来賓卓話

「私が地域おこし協力隊になるまで」

大野 菜摘 様

私が、地域おこし協力隊に参加するきっかけをお話したいと思います。

私は人の役に立つ仕事がしたいとずっと考えてきました。そのきっかけは中学の時、とあるNGOの代表の方の講演を聞いたときです。

その方の生き方がとても格好いいと思った私は、高校・大学とボランティアサークルに入り、海外にも興味を持ちました。そして大学1年生の時にフィリピンスタディーツアーに参加したことで、私の意識がガラリと変わりました。初めて1週間以上海外で過ごし、私の視野が大きく広がり、何より衝撃的だったのが現地の子供たちの姿でした。靴が片方しかなくても、貧しくても、目をキラキラさせていて、私が困っているとすぐ物を差し出してくれたり、彼らは人に与えることを知っていました。そこで本当の豊かさとは何か、果たしてお金があること＝幸せなことだろうか、そして何よりこどもの強さや可能性を考えさせられました。

就職活動ではとても悩みました。“子ども”“海外”“奉仕”にまつわる仕事があったのですが、それに当てはまりそうなNGOは経験豊富な人材を求めているハードルが高く、挑戦する勇気が出なかったのです。どのような仕事か私のやりたいこととマッチしているかも分からず、そもそもそこまではっきり自分のやりたいことも分からなかった自分がいました。就職活動の圧迫感にも耐えられず、とにかく家を出て経済的に自立したかったので就職先は何でも



よく、最初に内定をいただいた餃子の王将に就職しました。

王将での仕事は楽しく順調だったのですが、社会のために何かしているというやりがいを感じられませんでした。残業続きで休日は寝て過ごし、仕事外でやりたいことを探すこともできませんでした。とりあえず社会人になってから考えようと大事な事を先延ばしにしていた自分を反省し、退職して自分探しをしようと思いました。

そこでピースボートを知り、参加を決意しました。ピースボートに乗って感じたことは、世界には安心できる環境で育つことのできない子どもが、いかにたくさんいるかということです。経済的に苦しい家庭で親からの暴行、戦争に駆り出される子ども、誘拐される子ども、路上で生活する子ども。そして、世界を見ることで日本にも目が行きました。日本にも安心して暮らせない子どもがいるはずだと思いました。途上国で苦しむ人が頑張るにも限りがあります。まず、日本のような先進国が変わらないと世界は変わらないし、これからの世界を担っていく先進国の子どもたちへの支援の必要性を感じました。

ピースボートの船旅では、自分自身が自然にとっても癒されました。貧しくとも自然の中で遊ぶ子どもたちの目はキラキラしていて、子どもは自然の中で思いっきり遊ぶべきで、それは何ものにも代えられない教育だと思いました。

そこで自然の中での子どもの教育にまつわる仕事がしたいと、ピースボートで知り合った北海道出身の友人に相談したところ、人のご縁が

つながって地域おこし協力隊に応募することになりました。そして今に至ります。

## 西岡 潤二様

現在「留萌市地域おこし協力隊」として活動中です。地域おこし協力隊とは総務省の行っている事業の一つで、地域外の人材を地域作りの担い手として地域（市や町）に受け入れるというもの。案件ごとに観光振興や農業振興、医療や教育などの分野に分類されます。身分は市役所の嘱託職員として地域振興部政策調整課に所属しており、普段は観光協会の仕事に従事しています。期待される事は教育旅行の誘致や受け入れ、留萌をフィールドにした野外体験活動の発展、またそれを利用した観光振興です。

私の経歴は余市町出身の現在27歳。父の仕事の関係で幼少期を道内各地で過ごした後、小学校4年生から余市で過ごしました。小樽潮陵高校を卒業し、北海道教育大学岩見沢分校に進学し、学生時代はバスケットボールに熱中しました。大学の専攻は学校教育教員養成課程、社会科、哲学倫理学研究室。また大学時代に環境NGOでの活動を経験しました。また野外教育についても個人的に学習しました。大学卒業後は、青年海外協力隊に参加しました。青少年活動隊員として2年間、マダガスカル共和国マジュンガ市の青年の家に勤務。活動内容は現地の若者を巻き込んだスポーツ、体育教育推進活動や保健教育推進活動です。個人的に未就学児童への教育や日本文化紹介もしました。

2011年8月に帰国、9、10月に再度マダガスカルに渡り、日本人監督作品の映画製作ロケに通訳兼現地調整役として同行。11、12月は個人的に被災地を訪問しボランティア活動した後、福島の子どもたちを北海道まで引率し函館大沼でのふくしまキッズに参加し、年が明けてからはアルバイトをしながら環境NGOで活動しました。そして今年の6月から留萌市で地域おこし協力隊として活動しています。

地域おこし協力隊に参加した理由は、留萌市でふくしまキッズを受け入れるという事を聞いたのが第1の理由です。青年海外協力隊での経



験、3.11の出来事が自分の生き方を変えた。それまで世界や途上国に向いていた目が、日本や北海道、身近なものに向いて行きました。

以上です。



## クラブの定款と細則

ロータリークラブに入会した時、クラブの定款と細則を渡されたことと思います。その時に、簡単にクラブの規則について説明を受けたことと思いますが、その後、この定款と細則をあらためて読み直した方は少ないかもしれません。

ここには、皆さまのクラブを運営していくための大切な規則や、皆さまがクラブの会員であり続けるための決まり事が書かれていますから、一度、読み返してみてください。

例えば、クラブの例会に欠席する場合、その例会の前後2週間以内に他のクラブの例会か、決められた会合などに出席して欠席をメークアップしなければならない、ということもロータリークラブ定款に書かれています。例会時間の60%以上の時間、例会に出席していなければ、出席と認められないこともそこに書かれています。例会を何曜日の何時から開催するということや、入会金と年会費の額については、ロータリークラブ細則にあります。このように、入会したときに先輩会員から教えられたことの多くが、定款と細則に定められているのです。

では、各クラブの定款と細則は、いつ、どこで決まるのでしょうか。ロータリークラブ定款については、クラブの名称と所在地を除く事柄のすべてが、規定審議会で改定されます。規定審議会は、国際ロータリーの立法機関で、3年に1回開催され、各地区から1人の代表委員が参加して、提出された立法案について審議します。採択された立法案に沿って、標準ロータリークラブ定款が改定されますが、同時に各クラブの定款も変更されるのです。

立法案は、クラブからも提出できますが、クラブの場合は、地区大会の承認を受けなければなりません。

一方、ロータリークラブ細則は、定足数(クラブ会員の3分の1)の出席する例会で、出席会員の3分の2の賛成によって改正することができます。な

お、この改定案は、審議する例会の10日前までに会員に届けられていなければなりません。

また、国際ロータリー定款、細則、標準ロータリークラブ定款と背馳する改定、条項追加をしてはいけないことになっていますから、3年に1度開催される規定審議会で、それらが改正されるのに合わせて、クラブで見直す必要があります。

さて、ロータリーで最初の定款ができたのは、いつのことか、どのようなものだったのでしょうか。「ロータリー日本五十年史」には、「最初の定款ができたのは1906年1月で、(1)会員の職業上の利益の増進、(2)親交と社交のクラブに普通付帯する望ましい事柄の増進、をその目的としていたが、その年のうちに、(3)シカゴ市の最善の利益を振興し、会員間に市民としての誇りと忠誠の精神を鼓舞することが加えられた」とあります。

世界で初めてのシカゴロータリークラブができたのが1905年2月23日ですから、創立して1年たたないころにロータリークラブ定款がつくられたことになります。

複数の人が集まる組織をスムーズに運営していくためには、なんらかの決まりが必要になります。クラブ定款と細則は、皆さまのクラブを運営するために欠かせないものです。文章が堅苦しいとか、文字が小さくて読みづらいなどと言わず、常に確認をするようにしてください。

編集長 二神 典子



規定審議会